

Kurashiki Amaki

Questions & Answers

For junior high school students 28 July, 2014

あ ま き

☆天城高校は「安心・満足・希望」を実現します。

「安心」の学習環境① クラス編成

学力、人間性ともに「互いに高めあえる環境」

市立中学校等出身者と天城中学校出身者が同じクラスで学校生活を送り、多くの学校行事にもクラス単位で参加するので、互いに高めあい、クラスの団結が深まります。

本年度の入学生に対して行った「新入生アンケート」においても昨年同様、どちらの中学校出身者からも、学習面、学校生活の面、部活動においても、「いい刺激になる」、「とても楽しい」、「仲良くやれている」、「友達が増えた」など、非常に前向きな多くの声を聞くことができました。

「安心」の学習環境② 進度別・習熟度別授業

一人一人が輝くための「進学型単位制カリキュラム」

単位制の採用により、自分にあった授業を選択できます。国語、数学、理科、英語において、**学習進度や習熟の程度に応じた授業**を行います。この中には多くの少人数講座があり、密度の濃い授業を受けることができます。

「安心」の学習環境③ 天城の進路指導体制

生徒一人一人に対応した「きめ細かな進路指導」

生徒一人一人が「高い志」をもって目標を定め、自分にとって価値ある学校、つまり「行くべき学校」を選び進学するための指導体制が天城高校にはあります。そのため、目標大学に対応する集団作りや「個別のニーズ」に対応した指導、さらに、高校3年生を対象に「8限補習」を実施しています。また、天城高校は1クラス当たりの教員数が他校に比べ多いのが特徴の一つでもあり、このメリットを活かして生徒一人一人にきめ細かな進路指導を行っています。

「満足」の学校生活 1度きりの高校生活

「学校満足度90%以上」 過去3年間平均・卒業生調べ

卒業生の学校満足度が90%を超えています。文「部」両道の部活動や行事が充実しているとともに、自分の夢をかなえることができる学校、それが天城高校です。今春卒業生学校満足度 92.6%!

「希望」を実現する天城高校 学びの仲間が集う場所

「行ける学校」より「価値ある学校」つまり「行くべき学校」へ

国公立大学合格者数3年連続UP! 岡山大学を中心に中四国国公立大学や地元私立ND清心女子大も大幅UP!
東大・京大をはじめとする難関国公立大学21名合格! 3年連続UP!
難関大学を目指す仲間や岡山大学を目指す仲間たちが、それぞれの目指す目標に向かって、“一致団結”

岡山県立倉敷天城高等学校

Open School Day 2014 & 授業公開 2014

7/28 (月) 【第1回 オープンスクール】

8/26 (火) 【授 業 公 開 [事前申込不要]】

※8/26は「何でも質問コーナー」を用意しています。また、進度別授業(標準・速修・深化)も行います※

9/27 (土) 【第2回 オープンスクール】

■ 普通科

Q1 天城高校の普通科の特色は何ですか。

A1 高校入学後、自分の適性や得意教科・不得意教科等を考慮しながら、1年かけて文系・理系を決定することができます。つまり、多様な進路に対応しているため、2年次から分かれる文系・理系で、それぞれの専門性を高めることができます。選択科目や学校設定科目をたくさん開講していますので、個々の希望進路に応じたきめ細かい科目選択が可能になっています。ほとんどの生徒が大学等への進学を目指し、**落ち着いた環境**の中で勉学に励んでいます。特に国公立大学進学希望者が多く、その希望が実現出来るように、**徹底した個人指導**も行われています。

Q2 科目選択はどのようになっていますか。

A2 単位制を導入することで**より幅広い選択が可能**になっているので、多様化する大学入試に柔軟に対応できます。普通科の場合、2年次以降の**類型(文系・理系)**を1年次に決定しますが、その類型選択に合わせて科目選択をします。2, 3年次には自分の進路や大学入試科目に合わせて適切な科目を選択し、効率的な学習を行います。2学期制なので、**選択科目の中には学期ごとに変更できるものもあり**、例えば、受験に必要な科目を重点的に選択したり、苦手な科目を多く選択して補強するなど、**自分に適した学習が可能**です。



また、天城高校では、大学入試に必要な科目は、**少人数でも開講**していますので、芸術・体育系の進学希望者にも充実しています。

Q3 自分にあった科目選択や文理選択ができるでしょうか。

A3 1年次には、クラス担任との面談やAMAKI学(「総合的な学習の時間」)やホームルームの時間など、さまざまな行事を通して、自分の興味・関心や適性を考えます。担任だけでなく、進路指導係の先生が生徒からの相談に応じ、最新の情報を提供します。2年次以降も、ホームルームの時間などで、進路学習や科目選択のガイダンスを何度も行います。**多くのモデルプランを見ながらクラス担任と十分な面談をする時間を設けています**ので安心してください。

Q4 普通科のAFPとは何ですか。

A4 2年次前期のAMAKI学(「総合的な学習の時間」)で行っている課題研究です。*Amaki Future Project*の略でAFPと呼んでいます。4~5人のグループで研究をします。研究といっても、理系的なものばかりでなく、文系的なもの(例:文学, 歴史学, 社会学, 心理学など)もあり、自分の進路志望と興味・関心にあった課題を設定することができます。研究を通して、普段の授業では勉強できない希望進路への専門的な知識を得ることができます。また、研究を論文にまとめたり、ポスター発表もすることで、情報発信の方法も学びます。従って、**この課題研究で学んだこと、得たこと、さらに経験したことが、高校3年次の進学先の決定に大きな影響を与えます**。生徒にとって、非常に有意義な時間となっています。

平成26年度の普通科課題研究AFP 統一テーマ「震災」

- 文系分野 「地震の歴史」「復興ソングから学ぶ言葉の効果」「震災時の行動からみる日本人の性質」「支援物資のミスマッチ」「心と色の関係」「いちばん優れた非常食はなんだ!？」
- 理系分野 「建築構造とゆれの関係性と実用性」「南海トラフ地震による天城への影響とその対策」「仮設住宅の問題点とその改善策」「共振現象について」「防災と私たち」「津波の地域別パターンとそれによる魚介類への影響」「仮設住宅の問題点とその改善策」



■ 理 数 科

Q1 「理数科」は「普通科」と、どう違いますか。どのような生徒に向いていますか？

A1 理数科では**入学時より数学・理科に重点を置いたカリキュラム**を組んでおり、コンピュータを使った授業や実験、校外での実習、生徒が主体的に取り組む**課題研究**などが質、量ともに充実しています。そのため**理科・数学の研究に強い興味・関心**をもち、**将来は理系の大学に進学することを、高校入学時から希望している生徒**に向いています。

Q2 課題研究基礎（1年次前期）・課題研究Ⅰ（1年次後期、2年次前期）とは何ですか。

A2 課題研究基礎は自然科学や科学技術に関する身近なテーマから最先端の研究まで、様々な分野について「課題発見型実験プログラム」「ラボ講座」「まとめ学習」を展開し、科学研究の基礎を身につけていきます。

課題研究Ⅰは、**数学や理科の各分野から自分たちで主体的にテーマを選び、1年間かけて研究し、その成果を発表**します。充実した機器・設備を使って、自分の興味のある分野を時間をかけて深く探究することができます。10～15名の指導教員と、**岡山大学との連携**による大学教授、大学生、大学院生、留学生などの協力を得ながら、少人数のグループに分かれて研究に取り組んでいます。

Q3 大学進学に有利ですか。

A3 普通科に進学して2年次から理系を選択した場合と同様ですが、例えば、国公立大学の理系学部の入試では理科・数学の配点が大きく、理科・数学が得意な人ほど有利になっています。また、小論文や面接を重視する大学が最近増えていますので、理数科での**実験・実習・課題研究**などを通して学んだ**深い知識や研究の実績は大学入試に直結**しており、推薦入試やAO入試では特に大きな成果を上げています。

単位制であるため理数科も科目選択の幅が広がり、国語・数学・英語の3教科を重視した選択も可能になります。

課 題 研 究 の テ ー マ 例

【物理分野】	マイクロ波の干渉による光速の測定 風メカホンによる風力発電の効率化 物体の横揺れが流体抵抗に与える影響
【化学分野】	コンブに含まれる旨味成分の効果的な抽出条件 キレート滴定による濃度測定 古紙を用いた炭の吸着能力
【生物分野】	リョクトウモヤシ芽生えの荷重による伸長成長の変化
【数学分野】	男子高校生対象エコグラム質問紙の作成

理数科校外研修の活動内容

蒜山の自然とテクノロジーに関して体験を通して学び、プレゼンテーションにまとめて発表します。

・蒜山の植生調査 ・岡山大学地球物質科学研究センター（講演会、高圧実験、施設見学） など

■ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

Q1 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは何ですか？

A1 **将来、国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を図るために、文部科学省が指定をした学校**のことです。

平成17年度に初めて指定を受け、平成22年度からさらに5年間の指定、そして来年度からの3期目を現在準備中です。多額の教育予算のもと、従来は行えなかった水準の高い実験、体験活動、科学研究者による講演など、充実した学習活動を行っています。これまでの取り組みにより、多くの人材が育ち、大学へ進学しています。

Q2 国際交流について教えてください。

A2 2年次に姉妹校である**米国バースト一校への短期研修**を行っています。これは科学交流を目的とした事業であり、事前に英会話や英語のプレゼンテーション研修もあり、非常に有意義な行事で、普通科・理数科ともに参加が可能です。また、姉妹校の来校など、天城高校ならではの国際交流の体験をする機会に恵まれています。

Q3 他にもSSH行事はありますか？

A3 毎年数回、**スーパーサイエンスセミナー**を開催しています。これは科学技術への興味・関心を高めるための行事であり、大学などの施設見学や、外部講師による講演会などを行っています。

平成24年度は、スーパーコンピューター「京」・SPring-8の見学会を行いました。平成25年度は、ノーベル化学賞を受賞した鈴木章先生による講演会に参加しました。今年度は、6月に京都大学准教授の多田先生をお招きして講演会を実施しました。また8月には横浜・つくばスーパーサイエンスツアーを実施する予定です。**普通科・理数科とも興味・関心がある生徒であれば、誰でも参加できます。**

■ 学校生活・行事

Q1 部活動は盛んですか。また、勉強と部活動は両立できますか。

A1 天城高校では、どの部も活発に活動しています。平成26年度は、運動部では、アーチェリー部が4年連続で全国大会に、他にもハンドボール部・テニス部・陸上部・弓道部・水泳部が中国大会に出場しています。また、文化部では書道部と美術部が全国大会に出場します。天城高校には「**勉強と部活動の両立**」をモットーに、集中力を高め、時間を有効に使って充実した高校生活を送っている生徒が大勢います。毎年、国立大学合格者の多くが部活動に積極的に参加しており、難関大学にも多数合格しています。



●「東雲祭」高校ブロックパフォーマンス●

Q2 修学旅行について教えてください。

A2 天城高校の修学旅行は、**生徒にアンケート**をとりながら、より充実した魅力あるものを目指しています。平成25年度は**沖縄県宮古島**、平成26年度は**東北・北海道**で実施し、平成27年度は北海道に行くことが決定しています。

Q1 定期テストや評価はどうなるのですか。

A1 進度別授業を行っている科目では、標準・速修・深化と授業範囲が異なるため、定期考査は**別問題を実施します**。共通の範囲の場合は、共通問題もあります。各講座によって、**評価の有利・不利は全くありません**。安心して選択することができます。

Q2 入試制度はどうなっていますか。

A2 平成26年度の募集人員は募集定員から天城中学校からの進学希望者を除いた数で、普通科96人、理数科25人の合計121人でした。

平成26年2月に新しく実施された特別入学者選抜では、理数科の募集人員の100%に当たる25人を募集し、25人を合格内定者としてしました。また、3月の一般入学者選抜では、普通科96人を募集しました。

平成26年度の入学者選抜から、自己推薦による入学者選抜は廃止され、普通科は3月の一般入学者選抜のみとなっています。理数科は2月の特別入学者選抜を行い、募集人員の100%を募集します。なお、特別入学者選抜では、学力検査(国語・数学・英語)、面接に加えて、口頭試問(実験を含む)が行われます。特別入学者選抜についての詳しい情報は、学校説明会などでお知らせします。

■平成26年度年間行事(予定)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
入学式、部紹介 集団宿泊研修(1年) 春季球技大会(2・3年)	生徒総会 地区総体 社会貢献活動	県総体 修学旅行(2年)	三者懇談 第1回オープンスクール	学習セミナー(全学年) 理数科校外研修(1年) 授業公開	東雲祭(文化・体育の部) 海外姉妹校短期研修 課題研究発表会(普通科) 第2回オープンスクール
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
創立記念日 芸術鑑賞会 課題研究発表会(理数科) 社会貢献活動 学校説明会	運動部合同トレーニング	冬季球技大会(1・2年) 三者懇談 課題研究発表会(理数科)	百人一首大会 (1・2年) キー・インボ-教室 (1年)	特別入学者選抜 (理数科)	卒業式 一般入学者選抜 合格者発表

オープンスクールやその他のお問い合わせは、倉敷天城高校 総務課までお願いします。

▲ 電 話：086-428-1251 ▲ Eメール：amaki-somu@pref.okayama.jp